

大掃除の機会に室内の 安全対策を見直そう



四谷消防署

冬は火災多発期です！

- 空気が乾燥するこの季節は、火災が起こりやすくなっています。



これらは冬に起きた火災です。

電気火災が特に多い！

- 昨年度は、全体のおよそ40%近くが電気設備機器による火災となっています。それに続くのが、放火やたばこ、ガス設備機器となります。



電気設備機器による出火



たばこの不始末による出火



ガス設備機器による出火

電気火災の原因は...

- 電気火災の多くが、コンセントやテーブルタップなどの、接触部分が原因で起こります。
(etc...接触不良、タコ足配線、汚れなど)
- その中の一つに、トラッキング現象というものがあります。



トラッキング現象とは？



(トラッキング現象)



- トラッキング現象とは、コンセントに差した差込みプラグの差し刃に溜まった埃などが原因で火災が発生することです。定期的な点検や清掃などで防ぐことができます。

掃除のついでにチェックできること

- コンセントのほこりをしっかりとって、トラッキング現象を防止する。
- 住宅用火災警報器の電池が切れていないか、作動するかを確認する。

簡単にできるっ！



住宅用火災警報器の点検をしよう！

- 住宅用火災警報器の電池の寿命は約10年と
なっているものが多い
です。

電池が切れてしまうと、
火災を感知できずに
被害が拡大してしまう
恐れがあります。



大掃除は一年の締めくくり．．． 後の憂いを断つ！

- ➡ 掃除のついでに安全対策を確認することで、不安を来年に持ち越さないようにしましょう。

今年を安心と満足感で送り出し、万全の準備と自信をもって来年を迎え、安全、安心の1年にしていきましょう。

